内容をご熟読ください

Owner's Guide
取 扱 説 明 書

純正キーレスでセキュリティをON。

自動車盗難防止装置

純正キーレスエントリー連動モデル

MODEL 300V

「安心と安全を次の世代に」

KATO-DENKI

はじめに

この度はホーネットをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書に記した注意事項をよくお読みいただき、安全かつ正しい方法でより長くご愛用くださるようお願い致します。
本書は無くさないよう、大切に保管しておいてください。

●本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載もれなどお気付きの点がありましたら、お客様サポートセンターまでご連絡ください。
●乱丁、落丁はお取り替え致します。
●本書に掲載されている内容は 2010 年 2 月 1 日現在のものです。

●本書に記載されている内容は、将来予告なしに変更することがあります。
●本書の掲載画像には若干の相違がある場合がございますのでご了承ください。

目次

お取り扱い上の注意

本製品をご使用になるお客様への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載してあります。注意事項は、次のような記号に分類して表示してあります。

危険 取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う危険の生ずることが想定される事項。

警告 取り扱いを誤った場合、使用者等が死亡または重傷を負う可能性が想定される事項。あるいは、軽傷または物的損害が発生する頻度が高い事項。

注意 取り扱いを誤った場合、使用者等が損害を負う危険が想定されるか、物的損害のみの発生が想定される事項。

禁止 禁止行為を表す記号。この記号が表示してある行為は絶対におやめください。

機構上、機能上の故障やトラブルを防ぐためのヒント等を説明。また、アクセサリーを扱う上で、各種装置の機能を正しく作動させるために必要なことや、無理な操作をさけることでアクセサリーの寿命を延ばしたり、コンディションを最高に保つためのヒント等を説明。

強制・制約・指示等を表す記号。

※上記はいずれも安全に関する重要な事項を記していますので、必ずお守りください。

安全上の注意

警告

●エンジンルーム内にサイレンを取り付けたままエンジン洗浄をしないでください。
ショートにより、感電や機器が故障する恐れがあります。

●メインユニットおよびオプション類の取り付けには正しい車両電装の知識が必要となります。必ず車両電装に関する詳しい知識と技術のある取付店にて行ってください。また、車両電装の知識不足による誤った設置や配線方法により車両の破損、故障等が発生しても当社では責任を一切負いかねます。

知識のない方が取り付けを行うと車両、製品の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ恐れがあります。

●本製品は、故意に分解および改造変更は絶対にしないでください。

製品本来の機能を損なうのみならず、重大な事故が発生する恐れがあります。また、分解および改造変更を行った製品の保証は一切しておりません。

●本製品は大音量のサイレンを使用しています。人やペットが近くにいる時に本製品を作動させないでください。聴覚障害をおこす恐れがあります。

危険

●DC12V 車両専用
24V 車両には装着できません。

使用上の注意

●本製品は、車両盗難、車上狙い等を抑制するものであり、完全に防止するものではありません。

●テストの際はガラスやボディ等が破損しないように十分注意してください。
当社では万一破損等が発生しても責任は一切負いかねます。

●本製品は低消費電力設計がされておりますが、長期の連続使用や環境、車両の整備状況によってバッテリーの消耗具合が異なります。1週間以上車両をご使用されない場合等は特にご注意ください。

●本製品の警告、警報は、防犯上非常に効果的な大音量で発報するため騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した上で適切にご使用ください。

●本製品に過度の衝撃や振動は加えないでください。

●本製品の内部へは絶対に水や油などが浸入しないように十分注意してください。

必ずお読みください

●国産車限定
車両の機能によっては一部機能が使用できない場合があります。
車種により本製品の接続が不可能な場合があります。
並行輸入車、外国車への取り付けサポートは行っておりません。

●ダブルガードショックセンサーは取り付ける位置や車両の剛性等によって感度が大きく変わります。

●当社では製品の検査、修理時の代品貸し出しなどは一切行っておりません。また、検査、修理時に発生した工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

●本製品はアナログ制御になります。コンピューターによるデジタル多重電送通信線への接続はできません。接続をした場合は、本製品のみならず車両の機器を破壊する恐れがあります。

●本製品の仕様およびデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●本製品の作動の有無にかかわらず、車両盗難、車上ねらい等が発生しても当社では責任を一切負いかねますのでご了承ください。

製品の説明

HORNET（ホーネット）とは

HORNET は、製品を取り付けされた車両に異常が発生した場合に、大音量のサイレンにて不審者を威嚇したり周囲に異常を知らせる、盗難発生警報装置（カーセキュリティシステム）です。各種センサーにより車上荒しを効果的に抑制します。
また、別売の各種オプションと組み合わせることで防犯性、利便性をさらに拡張し、オリジナリティ溢れるシステム構築が可能です。

本書に出てくる主な用語の解説

警告／警報

HORNET が車両の異常を検出した場合に、サイレンを鳴らすなどして威嚇することを示します。

警告：
サイレンからの音　　：ビッビッビ……
スモールライトの点滅：２回

警報：
サイレンからの音　　：ビービービー……‼
スモールライトの点滅：サイレン鳴動中

確認音

HORNET の各操作を行うたびに鳴るサイレンからの音を示します。また、システムのON（作動）／ OFF（解除）時に鳴る確認音をとくにクリックトーン（動作確認音）と呼びます。音の鳴り方は操作の内容によって異なりますので、各案内書きをご覧ください。

300V の梱包物　（取り付けの前に必ずご確認ください）

300Vメインユニット×1台

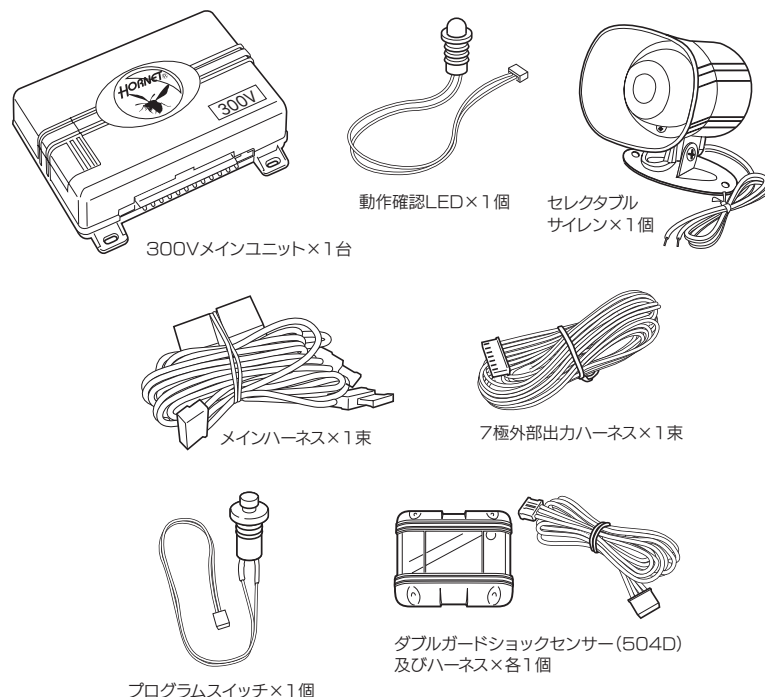
動作確認LED×1個

セレクタブル
サイレン×1個

メインハーネス×1束

7極外部出力ハーネス×1束

プログラムスイッチ×1個

ダブルガードショックセンサー（504D）
及びハーネス×各1個

その他

取扱説明書×1冊、取付説明書×1冊、ホーネットステッカー×1シート、お客様登録カード×1枚
全国自動車用品工業会自主基準登録証×1枚、確認チェックシート×1枚、ダイオード×5本

※ステッカーはフロントガラスには貼らないでください。
　側面ガラスに貼る場合は、ステッカー全体がガラスの開口部の下縁から100mm以下、かつガラス開口部の後縁から125mm以内におさまるように貼ってください。また、ステッカーの再発行は致しません。
※本製品の仕様およびデザインは性能向上等のため、予告なく変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

基本的な操作の仕方

リモコンのボタンについて

本製品の操作は、純正のキーレスエントリーリモコン(以下リモコン)によって行います。リモコンの種類によって操作方法や範囲が異なりますのでご注意ください。

ホーネットを作動させる

必ずドアロックの学習を行ってからご利用ください。

1 エンジン停止後、クルマから降り、すべてのドアを閉めます。

2 リモコンのロックボタンを１回押して、ドアをロックします。

3 “ビッ” と１回クリックトーン®と一緒にホーン（接続している場合）が鳴ってシステムが ON になったことを知らせます。

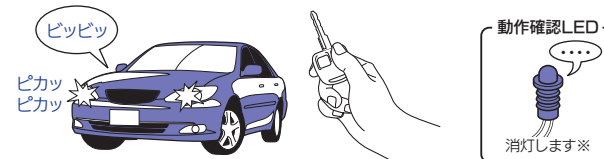
動作確認LED
点滅します※

※システム作動中には、動作確認 LED が点滅を続けます。
※システムを ON にした際にクリックトーンが１回鳴った後、３秒後に再度鳴った場合には、システムを ON にした時に半ドアであったり、何らかのセンサーが反応したことをレポートしています。反応したゾーン(P.17)は動作確認 LED で確認してください。

機能設定（取付説明書参照）でクリックトーンを「OFF」に設定することでシステム ON ／ OFF 時の確認音を鳴らさなくすることができます。
ハザードランプを点滅した状態ではシステムを ON ／ OFF できない場合があります。

ホーネットを解除する

1 システム作動中、リモコンのアンロックボタンを１回押してドアをアンロックしてください。

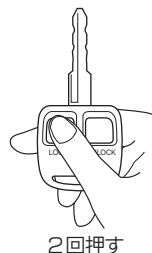
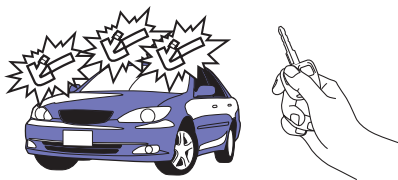
2 クリックトーン® と一緒にホーン（接続している場合）が２回“ビッビッ”と鳴ってシステムが OFF になったことを知らせます。

※システムを OFF にした際にクリックトーンが４回または５回鳴った場合には、システムが ON の間に何らかのセンサーが反応したことをレポートしています。反応したゾーン（P.17）は動作確認 LED で確認してください。

●機能設定（取付説明書参照）でクリックトーンを「OFF」に設定することでシステム ON ／ OFF 時の確認音を鳴らなくすることができます。
●ハザードランプを点滅した状態ではシステムを ON ／ OFF できない場合があります。

パニックモード（強制サイレン）

リモコン操作で警報を強制的に鳴らすことができます。
緊急時や周囲に異常発生を知らせたい時などに便利です。
途中で警報を止めたい場合にはアンロックボタンを押してドアをアンロックしてください。
警報が止まりシステムが ON 状態になります。

1 リモコンのロックボタンを２回押します

２回押す

2 強制的に警報を鳴らすことができます。

パニックモード

警報は設定した秒数鳴ります。（取付説明書参照）

※パニックモードによって最後まで警報が鳴りきった場合、システムは ON 状態となります。
※ロックボタンを押した時の動作が１回目と２回目で異なる車両では使用できません。
　例１：車両のドアがロックしている状態で、リモコンのロックボタンを押した時にシステムが ON にならない車両
　例２：リモコンのロックボタンを１回目に押した時にはハザードが点滅するが、２回目は点滅しない車両
※ロックボタンとアンロックボタンが共用のリモコンの場合、使用できません。

基本的な操作の仕方

ハイセキュリティ解除™

警報が鳴っている最中にシステムを OFF にせずに、警報のみを止めることができます。
システムが OFF 状態にならないため、システムを再度 ON にする必要がありません。

1 **警報開始**
システムが ON の時にセンサーが働くと警報が鳴り始めます。

2 **ハイセキュリティ解除™**
警報中にロックボタンを押すと警報のみが止まり
引き続き ON 状態を続けます。

※何らかのセンサーが反応し、警報が鳴り始めると、動作確認 LED は反応したゾーンを示し始めます（P.17）が、ハイセキュリティ解除™を行うとメモリはリセットされ、通常の点滅に戻ります。
※ロックボタンとアンロックボタンが共用のリモコンでは使用できません。この場合、ハイセキュリティ解除にはならず、システムが OFF します。

バレーモード

バレーモードとはシステムが ON にならないようにするモードです。
車検などで車両を預ける場合にセキュリティ機能が必要なければ、このモードに設定してください。

- バレーモードは下記操作を行うたびに作動／解除が繰り返されます。
- 点灯した動作確認 LED は、一定時間（60分）エンジンを始動しないと、バッテリーを保護するために消灯します。

設定方法は以下の２通りです。

バレーモード作動／解除方法：プログラムスイッチを使用してバレーモードへの切り替えを行う場合

【ステップ1】イグニッションキーを ON にしてからすぐに OFF にします。

【ステップ2】ステップ１のあと 10秒以内にプログラムスイッチを一度押します。

【ステップ3】動作確認 LED の点灯状態を確認します。

※バレーモード作動：消灯→点灯
　　　　　　　解除：点灯→消灯

ドアが開いた状態でリモコンが使用できる車両については下記の方法でもバレーモードの作動／解除が行えます。

【ステップ1】車のドアを開けます。（どのドアでも良いです）

【ステップ2】リモコンを利用してドアをロックします。

【ステップ3】２秒以内にリモコンを利用してドアをアンロックします。

【ステップ4】２秒以内にリモコンを利用してドアをロックします。

【ステップ5】動作確認 LED を確認します。

ロングタームイベントヒストリー

最新の警報履歴を、動作確認 LED の点滅によって過去２回までさかのぼって確認できます。

1 イグニッションキーが OFF の状態で
プログラムスイッチを押し続けます。

2
イグニッションキーを ON にします。

3
プログラムスイッチを離します。

4
５秒以内にプログラムスイッチを押して離します。

5
新しい順に過去２回までさかのぼり、動作確認 LED の点滅回数で警報履歴を確認できます（ゾーン ID ／ P.17 参照）。

6
60 秒経過するか、イグニッションキーを OFF にすると
動作確認 LED は消灯します。

本ページはセキュリティ性に関わる内容を記載しているため、ダウンロードサービスでは省略させていただきます。

ダイアグノスティック™ 機能

動作確認 LED やクリックトーンによって、センサーが異常を検出して警報した場合にその原因をある程度特定することができます(ダイアグノスティック™ 機能)。

クリックトーンやライトフラッシュの回数により、発報の有無などの確認が行えます。また、半ドアやセンサーが反応した状態でシステムを ON にした場合には、確認音が鳴ることでレポートを行います(センサーレポート機能)。

操作	レポート内容	動作確認音	ライトフラッシュ
システムON	システムON	ビッ	1回
システムON	半ドアやセンサーが反応した状態でシステムON	ビッ　約2～3秒後　ビッ	1回
システムOFF	システムOFF	ビッビッ	2回
システムOFF	警報が鳴った後にシステムOFF	ビッビッビッビッ	3回
システムOFF	NPCが働いている状態でシステムOFF	ビッビッビッビッビッ	3回

動作確認 LED の点滅回数により、センサーの反応状態の確認が行えます。

システムの状態	動作確認 LED の状態
システム作動中	通常点滅(1 回点滅)
半ドアやセンサーが反応した状態でシステム ON	30 秒間、反応しているゾーン ID 数点滅、その後通常点滅
警報中	反応したゾーン ID 数点滅
警報終了後	60 秒間、反応したゾーン ID 数点滅 その後通常点滅
ハイセキュリティ解除時	通常点滅(1 回点滅)
警報があった後にシステム OFF	最後に反応した２回分のゾーン ID 数を交互に点滅

ゾーン ID 一覧

各センサーやトリガーには、それぞれ固有のゾーン ID が割り当てられています。

ゾーンID	センサー／トリガー	反応内容
1	インスタントトリガー	オプションセンサーが働いた
3	ドアトリガー	ドアが開けられた
4	ダブルガードショックセンサー	強い衝撃が加えられた
5	イグニッションONセンサー	エンジンが始動された

ヒント

ダイアグノスティック™ 機能のリセット

システム OFF 中にイグニッションキーを ON にすると動作確認 LED は消灯します。

注意

ダイアグノスティック™ 機能は、最後に異常を検出した２回分のゾーンに対してレポートします。警報があったすべての原因がわかるものではありません。

インスタントトリガー【ゾーン１】

トランクが開けられたことを検出し、警報を鳴らして威嚇します。トランクに積載されたものを守るために有効です。
また、ボンネットが開けられたことを検出し、警報を鳴らすこともできます（車両によっては別途オプション「ピンスイッチ（8607）」が必要です）。

ドアトリガー®【ゾーン３】

システム ON 時にドアを開けられたことを確実に検出し、警報を鳴らして威嚇します。

ダブルガードショックセンサー：504D【ゾーン４】

窓ガラスを割られた場合など、車体に加えられる衝撃を強弱２段階で自動判別して、警告または警報を鳴らして威嚇するためのセンサーです。風などの「揺れ」にはまったく反応せず、瞬間的に加わる「衝撃」や「衝撃波」、「振動」のみを検出できます。

※衝撃センサーの性質上、感度を敏感にするほど様々な外的要因（他車の走行振動、航空機の飛行時などから伝わる振動、台風その他）により微振動や衝撃波を検出して犯罪発生時以外にも警報が鳴る場合があります。センサーの特長をよく理解し、ご利用環境や目的によって適切な感度に設定の上ご利用ください。

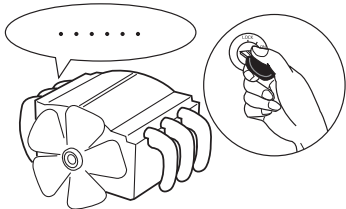
※本センサーでは傷つけを防ぐことはできません。

イグニッション ON センサー【ゾーン5】

エンジン始動を感知するセンサーです。
システム ON 中に、エンジンをかけようとすると警報を鳴らして威嚇します。

※システムを ON してから 1 分以内にイグニッションを ON にすると、システムが OFF になります。

イモビライザー機能

システム作動中に、エンジンをかけようとしても純正のキーや合鍵でもエンジンがかかりません。

機能設定一覧表 下線が初期設定

メニュー		
ナンバー	リモコンのロックボタン設定	リモコンのアンロックボタン設定
1	アクティブ ON	パッシブ ON
2	クリックトーン ON	クリックトーン OFF
3	ドアトリガーエラー音 ON	ドアトリガーエラー音 OFF
4	なし	なし
5	パニックモード ON	パニックモード OFF
6	なし	なし
7	ドア開け時予備警告機能 ON	ドア開け時予備警告機能 OFF
8	なし	なし
9	サイレンタイム 30秒	サイレンタイム 60秒
10	※セキュリティ性に関わる内容を記載しているため、ダウンロードサービスでは省略させていただきます。	
11	ホーン出力時間 0.02秒	ホーン出力時間 0.03／0.04／0.05秒

機能設定の方法は取付説明書の機能設定方法をご確認ください。

その他の機能・特長

セレクタブルサイレン

犯罪心理学を研究して選ばれた犯罪抑止効果の高い6つの音色で構成されています。音量は最大約128dBで撃退効果は抜群です。
音色は6種類、音量は4段階から選択できます。
※設定方法に関しては、別紙取付説明書をご覧ください。
※初期設定は5音色目の音のみ鳴ります。

ライトフラッシュ

システムのON／OFF時、警告時、警報時にクルマのスモールライトを点滅させることで、視覚的にも犯人を撃退することができます。

パワーセーバーモード

バレーモード時、約1時間イグニッションキーをONにしないと動作確認LEDは消灯します。
動作確認LED消灯後、イグニッションキーをONにしてOFFにすると再度、動作確認LEDは点灯します。

レジューム機能

機能設定された内容をバックアップするため、万一電源が切断されてもシステムのON／OFFやバレーモード等の設定内容が残っています。

例：警報中に電源の供給がなくなった。電源の供給が復帰したときに警報します。

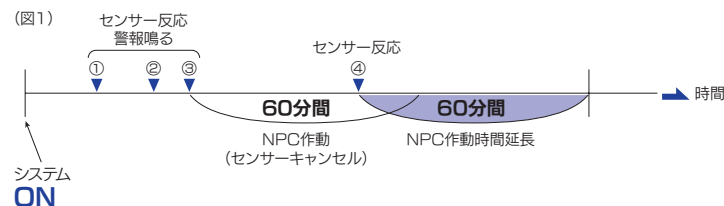
ソフトチャープ

動作確認音や警告などは、警報よりも若干小さい音で行われます。セレクタブルサイレンについている黒色のループ線を切断することで、警報と同じ音量になります。

NPC機能（迷惑防止回路）

近所迷惑などを防止するため、同じセンサーが連続して反応し、警報を鳴らすことを防止できます。

●同じセンサーが1時間以内に3回警報を鳴らした場合、3回目に警報を鳴らした時点から60分間そのセンサーをキャンセルします。

●NPC作動中、4回目に同じセンサーが反応した場合、その時点からさらに60分間NPC作動期間を延長します。（図1）

NPCをリセットするには？
システムOFF後キーでイグニッションをONの位置にします（エンジンをかけると自動的にリセットされます）。

トラブルシュート

故障かな？と思ったら

症状と原因	対　策
☆勝手に警報が鳴る	
・ダブルガードショックセンサーの固定が不十分	確実に固定してください。
・各センサーの感度が高すぎる	センサーの感度を絞ってください。
・ダブルガードショックセンサーの感度が高すぎる	感度を絞ってください。
☆セキュリティを ON した後、数秒後に「ビッ」と鳴る	
・センサーレポート機能が働いている	詳細は P.16を参照してください。
☆ドアを開けても警報が鳴らない	
・システムを ON にしてから５秒以上待っていない	システムを ON にしてから５秒以上待ってください。
・ドアトリガー線の接続不良	ドアトリガー線を確実に配線してください。
☆叩いても警報が鳴らない	
・システムを ON にしてから５秒以上待っていない	システムを ON にしてから５秒以上待ってください。
・車体を揺らしている	揺れには反応しません。
・感度が低すぎる	感度を上げてください。
・ダブルガードショックセンサーの固定位置が最適でない	衝撃の伝わりやすい位置に固定してください。
・NPC 機能が働いている	システムを OFF にしてからエンジン始動して NPC を解除してください。
☆イグニッションを ON にしても警報が鳴らない	
・システムを ON にしてから１分以上待っていない	システムを ON にしてから１分以上待ってください。
☆オプションセンサーが働かない	
・システムを ON にしてから５秒以上待っていない	システムを ON にしてから５秒以上待ってください。
・感度が低すぎる	感度を上げてください。
・テスト方法が違っている	各センサーに最適なテスト方法でテストしてください。(オプション付属の説明書参照)
☆セキュリティが作動しない	
・動作確認 LED が点灯している	バレーモードを解除してご利用ください。(P.13参照)
・ドアロック学習が正常に終了していない	ドアロック学習を行ってください。(取付説明書をご参照ください)
・黄色線を常時電源に接続している	黄色線は必ず IG ON で+12V が供給される線に接続してください。

上記のテストを行っても正しく作動しない場合は取付販売店へお尋ねください。

アフターサービスについて

アフターサービスについて

●万一、故障が生じたときは、保証書に記載されている当社保証規定に基づき修理致します。
●本製品の保証期間はお買い上げの日から１年間です。
●保証期間経過後は、修理によって本製品の性能が維持できる場合、お客様のご要望により有料にて修理致します。ただし、本製品の補修用性能部品がなくなり次第修理受付は終了いたします。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

保証書について

●製品には製品保証書を添付しております。ご購入の際には、必ず製品保証書をお受け取りの上、大切に保管してください。尚、店名、ご購入日、お客様名などの必要事項の記載のないものは保証期間中であっても無効となります。
●シリアル番号は安全確保上重要なものです。お買い上げの際にはメインユニットにシリアル番号が表示されているか、また、保証書記載のシリアル番号と一致しているかお確かめください。

修理を依頼されるときは

●説明書に記載の「故障かな？と思ったら」(P.23)を参考にして、故障かどうかを確認してください。故障とお考えの前に取付販売店またはお客様サポートセンター（P.25）にご相談ください。お客様サポートセンターへご相談後に検査依頼をされた場合でも、送料はお客様のご負担となります。
●修理をご依頼の際は、下記事項を確認して取付販売店へご依頼ください。
このとき保証書は必ずご提示ください。

１　型式名、型番号、シリアル番号
　（例：ホーネット300V　　5012204321）
２　故障の内容
　（どのような症状か・どんな時に症状がでるか・いつでもでるか、時々かなど）
３　お買い上げ年月日
４　お買い上げ店名
５　お名前、住所、連絡先電話番号

●修理時に取り外した不良品は品質改善のため、あしからず当方にて引き取らせて頂きます。
●購入店が移転・閉店した場合は、お近くのホーネット取扱店までご相談ください。
●当社では製品の検査・修理時の代品貸し出し等は一切行っておりません。また、修理を依頼されるときの送料、取り付け・取り外しにかかる工賃等の諸費用はお客様のご負担となりますのであらかじめご了承ください。

お問い合わせ先・製品仕様

●ホーネットについてのお問い合わせは……

KATO-DENKI

加藤電機株式会社

お客様サポートセンター

FAX 0569-26-0089

営業時間　月〜金　10:00〜17:00（祝日、年末年始等は除く）

※お問い合わせの際は、ホーネットの型式とシリアル番号を確認させていただきますので
　あらかじめご準備ください。

製品仕様

●電源電圧	DC12V
●平均消費電流（待機時）	約11.5mA（動作確認LED含む）
●平均消費電流（警報時）	約1A
●サイレン音圧	最大約128dB
●使用周囲温度	約-40℃〜+85℃
●メインユニット外形寸法	約103×68×34mm
●質量	約120g